

窪田議員（自民議連）

令和元年6月27日
教育長答弁実録
(教育委員会)

(問) 広島叡智学園開校後の課題と今後の展望について

本年4月、広島叡智学園の開校を迎え、どのような手応えを感じ、将来をどのように展望しているのか、また、今後の課題をどのように認識し、どのように解決していくのか、併せて教育長の所見を伺う。

(答)

広島叡智学園につきましては、4月の開校から約3か月が経過し、私自身も定期的に学校を訪問して、状況の把握に努めているところでございます。

まだ3か月ではございますが、第1期生の生徒たちは、とても熱心に学習活動に取り組んでおり、将来、様々な分野で活躍できるリーダーとなる可能性を強く感じております。

一方で、御指摘のとおり、

- ・ 国際バカロレアの学習に対応できる高い思考力や探究型の学力を有する外国人留学生の確保
- ・ 英語で国際バカロレアの指導が可能な外国人教員の確保

などは、今後の大きな課題であると認識しております。

こうした課題を踏まえ、引き続き、外部とのネットワーク構築などにより、外国人留学生・外国人教員の確保に努めつつ、生徒の状況や意向を丁寧に確認しながら、一人一人の将来の希望に沿った対応を行ってまいりたいと考えております。